

さいと

第91号

平成30年2月1日発行

市議会だより



妻中学校3年生



議場見学



11月21日に妻中学校3年生全5クラスの生徒が、西都市議会議場を見学されました。



●12月定例会の概要●

平成29年第5回定例会は12月1日に招集。12月20日までの会期で、市長提出議案29件、報告案件1件、議員提出議案1件、陳情2件について審査を行いました。

その結果、市長提出議案29件、議員提出議案1件は原案可決（専決処分承認を求めることについては承認）としました。

なお、陳情2件については継続審査としました。

主な掲載内容

- ◎議会活動報告会・・・P2～3
- ◎一般質問・・・P4～7
- ◎議案審議結果・・・P7～9
- ◎委員会審査報告・・・P9～12
- ◎陳情の審査結果・・・P12

次のページから

議会活動報告会

平成29年11月27日に第1回議会活動報告会を開催し、議会活動や9月議会の審議結果の報告・説明を行いました。

第1回 議会活動報告会を開催



(写真は、右から兼松委員長、田爪委員長、太田委員長、挨拶をする河野議長、中武副議長、岩切委員長、黒木委員長)

西都市議会では、平成29年11月27日(月)にコミュニティセンター3階にて第1回議会活動報告会を開催しました。開催にあたり河野方州議長より「議会は、これからも市民に信頼される議会、より身近な議会の実現を目指し、議会活性化に向けた歩みを更に進めていく」などの挨拶がありました。続いて中武邦美副議長より議会の仕組みについて説明があり、その後3常任委員会と2特別委員会の報告を各委員長が行い、質疑・応答を行いました。また会場ではアンケートも行い議会活動報告会に対する評価や、意見を頂きました。

常任委員会の報告

総務常任委員会

『新庁舎建設について』

総務常任委員長(太田寛文)は、

市の財政状況と新庁舎建設の2点に絞って報告しました。特に新庁舎建設については、現庁舎の南側に建設予定で、7100㎡、4階建てで総事業費約50億円を予定している。財源としては、国の事業債(一部交付税措置あり)市の基金、一般単独起債等で対応する。新庁舎の完成は、32年度を目指している為、委員会は、予算提案ごとに審査することなどを報告しました。

文教厚生常任委員会

『9月定例会の予算審査結果について』

文教厚生常任委員長(田爪淑子)は、9月定例会の予算審査結果を所管する課ごとに報告しました。その主な内容は、健康管理課が、ゲストキーパーを養成する為の委託料、福祉事務所が「子育てワンストップサービス事業」としてインターネット環境を整備する為の委託料、スポーツ振興課が施設整備の為の修繕料について説明しま

した。また地元から提出された陳情「旧尾八重小中学校の整備について」は採択されるまでの経緯などを報告しました。

産業建設常任委員会

『建築住宅課への要望事項について』

産業建設常任委員長(兼松道男)は、9月議会における主な審査内容について報告しました。主な内容は、建築住宅課への要望事項で、「入居希望住宅が空きになった場合には、抽選希望者に、詳しい情報(空き家状況、開催日時等)を知らせて欲しい。抽選会も2ヶ月に1回ということであるが、開催日も増やして欲しい」などの要望を行いました。また、陳情が1件あり、その内容は、「橋(通称一本橋)の市道編入及び架け替えについて」で、以上が主な審議内容であった事などを報告しました。

特別委員会の報告

新田原基地対策調査特別委員会

『騒音区域等縮小（案）に反対』

新田原基地対策調査特別委員長（岩切一夫）は、昨年の11月14日に、何の前触れもなく突然国から示された「新田原飛行場に係る騒音区域等縮小（案）」について報告しました。この問題に対して、委員会では意見書を作成し、九州防衛局、防衛省へ地元国会議員と共に要望活動を行いました。今後、報告後住宅の防音工事の実施と防音工事への助成区域の拡大等の諸問題に向けて対策を講じていく事などを報告しました。

救急医療対策調査特別委員会

『常勤医師確保の為に新病院建設を』

救急医療対策調査特別委員長（黒木正善）は、年間の救急車による搬送が1319人のうち市外（主に宮崎市）へ564人が搬送されていることや、西都児湯医療

センターが常勤医師不足のため、夜間11時以降の外来診療や土曜日の外来診療を中止したこと等現状を報告しました。また市民が望む病院にするためには、新病院を建設して常勤医師を確保する必要があるなどの報告をしました。

アンケート調査結果（抜粋）

議会活動報告会に対する意見

- ・ 報告会を開いてくださった事を評価します。
- ・ 「議会報告について」の質疑ではなく「議会活動全般について」としてほしかった。
- ・ 救急医療対策についての説明が大変勉強になりました。
- ・ 議会の活動が詳しく分かって大変良かったです。今後是非続けて開催して頂きたい。
- ・ 出席者が少なく残念でした。お知らせ（回覧板）だけでなくもっとPRをすると良いと思います。
- ・ 地区ごとの開催をお願いします。
- ・ 各委員会で説明時間も検討され

て短い時間でまとめられていた。説明も分かり易く丁寧な報告内容であったが、多少行政用語が多かったように感じられた。

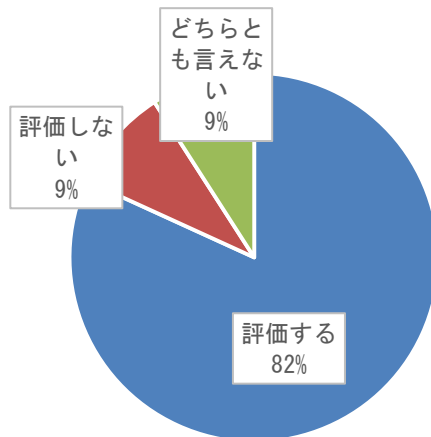
その他のご意見

- ・ 市民と対面して報告会を開かれたことは素晴らしい議員集団と思います。
- ・ 道の駅の採択が誠に残念です。市民の反対を押し切ったことは悔しいと思います。
- ・ 参加者は少なかつたのですが、質疑が多く出たということは、今までこういう場が無かつたからだと思います。こういう場を継続していく事が市民の無関心をかえていくのではないかと思います。

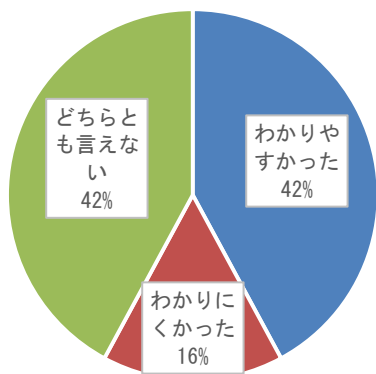
今後の議会活動報告会について

議会としては、アンケートの結果や参加者のご意見を踏まえ、次年度以降も充実した議会活動報告会が出来るよう検討してまいります。

報告会の評価について



報告内容について





政友会
荒川 敏満

問① 中学校の再編・部活動選択肢の課題に関しての今後の取り組みについて、学校設置者の市長はどのように考えるか伺いたい。

答 平成27年度「西都未来創生総合戦略」を基に、この問題は、西都市にとって最優先して取り組むべき重要な課題であり、西都市全体、地域全体の課題として捉えることが大事であると考える。

問② 農業次世代人材投資事業（旧 青年就農給付金）は、親元就農では支援されていないので、宮崎市のような独自の支援はできないものか伺いたい。

答 後継者不足を考えると何らかの支援策は必要だと考える。

問③ 平成30年産米からの生産調整の考え方について30年作からは、生産調整達成者を対象に交付されていたコメの直接支払（10a当たり7500円）が無くなることでの不安が農家にあるが、その見解を伺いたい。

答 国の方針で米価が上昇し安定が図られれば、直接支払交付金の

廃止分が補われることとなり、コメ生産者の不安も解消されると思われるので、今後の国の水田政策の動向を注視したい。

問④ 今後「産業用ドローン」は、稲作を始め果樹・畑作・林業関係者にとっては必要不可欠なものとなると思う。現在ドローン認定資格を取得するために約25万円から33万円費用が掛かる。支援はできないか伺いたい。

答 支援対象になると考えるので、そのような方向で頑張っていくたい。

問⑤ ゴールデンウィーク中の西都原での野外コンサート開催はできないか伺いたい。

答 野外コンサートを始めとするイベントが開催されると本市にとっても大変意義深いものになると感じる。



薬剤散布等での活用が期待される産業用ドローン



新緑会
太田 寛文

問① 将来の担い手やトレーニン グハウスで研修した人たちが、安心して農業ができるため地域にハウス団地構想を立ち上げてはと思うが見解を伺いたい。

答 農業は本市の基幹産業であり農業後継者の確保・育成は、大事であるので関係機関・団体等と検討したい。

問② 婚活は、広域的に取り組む必要があるため、関係団体や婚活に理解がある方からなる協議会を立ち上げる考えはないか伺いたい。

答 区長会の婚活に関する研修に職員も参加しており、次年度は、協議会設立の準備に入り、専門家による婚活のノウハウに関する講義も予定している。また、県が設置している「みやざき結婚サポートセンター」のような登録制度の導入も視野に入れ、準備を進めていきたい。

問③ 文部科学省が、問題行動や不登校調査において、全国で過去

最高になったことを公表した。本市のいじめ認知数や不登校の実態と対策について伺いたい。

答 本市のいじめ認知数は、小中学校で458件、不登校傾向にある児童生徒は27人となっている。児童生徒や保護者が相談しやすい体制づくりや、つぶさに観察し、いじめが予想される変化を見逃さないよう組織的な取り組みを進めている。各学校では児童生徒が回答しやすいように無記名でのアンケートを多いところでは毎月実施している。

問④ 西都人会議の状況と今後の取り組みについて伺いたい。

答 募集は、公募委員が58名、推薦委員が37名、会長・副会長として、宮崎大学の教授2名をお願いし、合計97名で第1回を開催した。来年の10月下旬には、政策提言を行う予定にしている。

問⑤ 西都妻湯温泉建設の現状を伺いたい。

答 さいと未来創生総合戦略の中において「西都妻湯プロジェクト」による地域振興策等は、戦略の柱となる。会社に確認したところ、施設のレイアウトはほぼ確定し、実施設計を策定中とのことである。来年中のグラウンドオーブンを目指している。



新緑会
北岡 四郎

問① 全国学力テストの結果をグラフ化して公表した意図について伺いたい。

答 これまで文字ばかりでわかりづらいとの意見等もあったため、より分かりやすくグラフ化したところである。

問② 今後学力向上にどのような取り組みのか伺いたい。

答 全国、県平均とも、やや低い状況が続いている。具体的には、「見える学力を意識した日常授業の改善」を教育委員会と全学校の共通のスローガンにして、取り組みたい。

問③ 新高校対策について、大宮高校など3校で計3クラス120名の定数減、都農高校の閉校の受け皿という点からも、市外の生徒を西都に呼び込むための対策について見解を伺いたい。

答 現在運行を行っている国富方面からのスクールバスに加え、児湯方面からのスクールバスの支援

をしてまいりたい。

問④ 民間の下宿についての支援の在り方について、3万円程度考える必要があるのではないかと伺いたい。

答 寮の定数以上の希望者があり下宿が必要な場合には検討する。

問⑤ 市独自で市内の高等学校の卒業生で大学卒業後一定期間西都市に住めば償還を全額、又は一部免除する奨学金制度等は創設できないか。あるいは難関大学合格者への進学準備金等の補助金の設置について伺いたい。

答 支援策として様々なものが考えられる。新高等学校に対する進学ニーズが高まるような新たな支援策について検討してまいりたい。



小グループで互いの学びを共有し、学び合う教職員の様子

高齢化社会に対する施策、教育施策の取り組みについて



新緑会
橋口登志郎

問① 高齢化、高齢社会、超高齢社会の定義、日本及び西都市の高齢化率について伺いたい。

答 高齢化率（65歳以上の割合）7%超が高齢化社会、14%超が高齢社会、21%超が超高齢社会と定義しており、日本は27.3%、西都市は34.85%である。

問② 高齢化の原因問題、有償介護ボランティアについて伺いたい。

答 生活食生活改善、医療技術の進歩、未婚率の増大、少子化等が原因と考えられる。問題は社会保障負担の増大や労働力不足による経済低下につながる。継続的なボランティアのためにはさいとくポイントを使うなど有効と考える。

問③ 介護予防について伺いたい。

答 認知症予防等を目的に「いきいき百歳体操」に取り組んでいる。

問④ 高齢者への虐待問題への取り組みについて伺いたい。

答 地域包括センター等の関係機関と情報共有、協議を行い、その

ケースにあった対応を図っている。

問⑤ 超高齢社会に対する西都市の「社会の仕組み構築」について伺いたい。

答 医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」の構築に取り組む。自助、共助、公助、助け合いの互助が必要と考える。市全体の運動になるよう努めていきたい。

問⑥ 西都独自で先進的な教育を作り上げることについて伺いたい。

答 小中高の一貫教育を推進しながら、故郷への愛着、また地元学校に進学したいという取り組みを進めていきたい。

問⑦ 箱物を作ると費用維持費が財政を圧迫する。そこで、既存の建物をシェアして使う知恵が必要と思う。歴史民俗資料館の価値は理解しているが芸術展示など他の用途への利活用について伺いたい。

答 歴史的民俗的な文化遺産の収集保存展示が目的で難しいとは思いますが、前向きに研究していきたい。

問⑧ 問題等は担当課の縛りに囚われず横断的に展開する必要があると思うが市長の見解を伺いたい。

答 組織を横断した取り組みが必要と認識している。職員一丸となって取り組んでいきたい。

観光行政、西都人会議、新「妻高校」設立に向けての取り組み状況



新風会
兼松 道男

問① 記紀の道整備と活用について。

整備着工から長く経過しているが西都原古墳群に通じる“記紀の道”であるので早期に完成させ西都の観光ルートの一つとして生かすために完成の時期と活用について伺いたい。

答 平成32年度完成を目指し鋭意整備しているところである。又、活用については、中心市街地の賑わい創出を目指して昨年度は「日本最古の恋めぐり」というタイトルのマップを作成し、今年度は、記紀の道の看板やサインを検討し、記紀の道を知らない市民へのPR方法について、ワークショップを行っている。

問② 西都人会議の進捗状況について。

幅広く市民の方々にご参加いただき、それぞれの分野の政策等についてご意見ご提案をいただきな

がら、積極的に市政に反映していきたいと市長は述べられているが次の4点について伺いたい。

1点目は、委員の総数は何名になったのか。2点目は、募集参加の申し込みが一番多かった分科会の3点目は、それぞれの分科会の応募者数。4点目は、全体会はいつ実施されたのか伺いたい。

答 1点目については97名。2点目は福祉、健康に関する分科会と教育文化に関する分科会で一番多く27名。3点目は、都市基盤に関する分科会が10名、生活環境に関する分科会が16名、産業振興に関する分科会が8名、計画推進に関する分科会が7名で、全体会は12月4日に開催した。

問③ 新「妻高校」設立に向けての取り組み状況について。

7学級280名の定数を確保するために、どのような取り組みをされるのか伺いたい。

答 新「妻高校」の認知度を高めることや新たな魅力を伝える必要があると考え、PR映像やパンフレットの作成、また新聞への広告掲載を行うことで、新たに設置される学科やコースの内容等、魅力ある学校として開設することを、県内幅広く周知したところである。

住宅リフォーム事業の継続と拡充で活性化対策を



日本共産党
狩野 保夫

問① 12月3日の航空祭に飛来した米軍機との共同訓練に対する見解と対応について伺いたい。

答 今回の訓練は、米軍が基地外へ宿泊するなど今までにない訓練形態であることから、新田原基地へ抗議と安全対策を強く要請した。

問② 24時間救急医療体制の実現のための関係機関との協議会設置の見通しについて伺いたい。

答 地元医師会、医療センター、市の三者による地域医療に関する意見交換会の開催や宮崎大学医学部との協議などを行っているが、現状は、共通認識の醸成に努めている段階である。

問③ 新庁舎建設計画について。耐震補強でなく、新庁舎建設を選択した理由を伺いたい。

答 防災拠点の機能、バリアフリー化などの機能性、建設費やランニングコストなど、長期的に見た経済性から新庁舎建設に至った。事業費積算の根拠と、財源対

策及び返済計画・本市財政への影響について伺いたい。

答 建設工事費約36億円、解体・外構等に約9億円、設計等その他経費約5億円、合計約50億円と想定している。財源は約40億円を市債、約10億円を基金の取り崩しで対応する。元利償還は年平均で約1億1千万円（交付税措置がある）となる。

問④ 「道の駅」計画を強引に進めた前市長や賛成した議員に、その責任を求める考えはないのか。また予定地として取得した土地の活用計画について伺いたい。

答 用地の取得に関して行われた手続きは、議会の審議を経て通常通り行われており、手続き上の瑕疵は認められていない。用地については検討しているが活用策を示す段階には至っていない。

問⑤ 「西都市住宅等新築リフォーム支援事業」による事業効果は、昨年度までの8年間で30億円と本市活性化対策として大きな役割を果たしているのか、支援事業の継続と事業拡充計画について提案したい。

答 同事業は、経済効果が大きく、本市活性化対策として大きな役割を果たしており、平成30年度も継続したい。

サロン・駅伝・三納中学校舎・さいとくポイント制度について



如水会
恒吉 政憲

問① ふれあい・いきいきサロン事業について伺いたい。

答 高齢者等の社会参加、医療・介護予防サービスのひとつとして地域の誰もが安心して暮らせる地域づくりが大きく寄与している事業と認識している。そして、地域福祉ビジョンにおいて、充実強化する事業としても位置づけているので、社会福祉協議会とも連携を図りながら、事業の普及・啓発に努めたい。また、年々活動拠点が増加しているもの、運営財源が赤い羽根共同募金助成事業ということもあり、事業拡大に伴う助成増が困難なことも課題となっているので、事業の実施状況、財源等について、他市の状況を調査・研究してまいりたい。

問② 高校駅伝について、今後の取り組みをお尋ねしたい。

答 本市には日本陸上競技連盟公認の西都マラソンコースがある。これこそが「地域資源」であると

思っている。ゆえに今後とも「駅伝のまちさいと」と言われるように、この日本陸連公認の西都マラソンコースを、西都市のまちづくりに生かしていきたいと考えている。

問③ 耐震性のない三納中学校舎等についての方角性を伺いたい。

答 平成25年度に解体する方針が決定した。教育委員会では、学校教育施設及び社会教育施設に係る個別計画を策定し、三納中学校の解体については、この学校教育施設設の個別計画の中に位置づけしていく。

問④ さいとくポイント制度の現状とこれからについて伺いたい。

答 現在のカード発行状況は、11月末時点で2173名の方がカードを所有しており、合計649万ポイント発行している。このうち462万ポイント分がギフト券に交換されている。これからの取り組みとしては、制度の周知をさらに積極的に進めるとともに、さいとくポイント制度を市民に広く普及・定着させるために、ポイント進呈対策事業の拡充や利用しやすい環境づくりに取り組みながら、コミュニティの活性化と地域経済の活性化を推進してまいりたい。

議案審議結果

第5回定例会（12月1日～12月20日）で審議された議案の概要と結果

- 全会一致で可決
- 賛成多数で可決

条例関係

- 第115号 西都市印鑑登録及び証明に関する条例の一部改正について（コンビニエンスストア等における証明書等交付サービスの開始等に伴い、諸手続等について所要の整備を行うとするもの）
- 第116号 西都市手数料条例の一部改正について（コンビニエンスストア等における証明書等交付サービスの開始等に伴い、手数料について所要の整備を行うとするもの）
- 第117号 西都市奨学資金貸付条例及び丸山国際交流資金貸付基金条例の一部改正について（奨学資金の返済期間の延長及び入学一時金の創設等に伴い、所要の整備を行うとするもの）
- 第131号 西都市職員の給与

予算関係

- 第118号 平成29年度西都市一般会計予算補正（第7号）について（総務費、教育費など、総額2億7842万6千円を減額補正しようとするもの）
- 第119号 平成29年度西都市国民健康保険事業特別会計予算補正（第3号）について（基金積立金など、総額447万円を増額補正しようとするもの）
- 第120号 平成29年度西都市簡易水道事業特別会計予算補正（第1号）について（総務費から424万2千円を減額補正しようとするもの）
- 第121号 平成29年度西都市下水道事業特別会計予算補正（第2号）について（土木費に583万7千円を増額補正しようとするもの）
- 第122号 平成29年度西都市営住宅事業特別会計予算補正

(第4号)について(住宅費から461万6千円を減額補正しようとするもの)

●第123号 平成29年度西都市農業集落排水事業特別会計予算補正(第2号)について(農業集落排水事業費に2万8千円を増額補正しようとするもの)

●第124号 平成29年度西都市介護保険事業特別会計予算補正(第2号)について(総務費に161万円を増額補正しようとするもの)

●第125号 平成29年度西都児湯障害認定審査会特別会計予算補正(第2号)について(障害認定審査会費に11万1千円を増額補正しようとするもの)

●第126号 平成29年度西都市後期高齢者医療特別会計予算補正(第3号)について(後期高齢者医療広域連合納付金など、総額440万5千円を減額補正しようとするもの)

●第127号 平成29年度西都市水道事業会計予算補正(第1号)について(配水給水費など、総額708万1千円を減額補正しようとするもの)

●第132号 平成29年度西都市一般会計予算補正(第8号)について(職員給与の改定に伴い、総額1836万4千円を増額補正しようとするもの)

●第133号 平成29年度西都市国民健康保険事業特別会計予算補正(第4号)について(職員給与の改定に伴い、総額60万1千円を増額補正しようとするもの)

●第134号 平成29年度西都市簡易水道事業特別会計予算補正(第2号)について(職員給与の改定に伴い、総額11万3千円を増額補正しようとするもの)

●第135号 平成29年度西都市下水道事業特別会計予算補正(第3号)について(職員給与の改定に伴い、総額20万5千円を増額補正しようとするもの)

●第136号 平成29年度西都市営住宅事業特別会計予算補正(第5号)について(職員給与の改定に伴い、総額19万2千円を増額補正しようとするもの)

●第137号 平成29年度西都市農業集落排水事業特別会計予算補正(第3号)について(職員給与の改定に伴い、総額4万2千円

を増額補正しようとするもの)

●第138号 平成29年度西都市介護保険事業特別会計予算補正(第3号)について(職員給与の改定に伴い、総額54万7千円を増額補正しようとするもの)

●第139号 平成29年度西都児湯障害認定審査会特別会計予算補正(第3号)について(職員給与の改定に伴い、総額4万2千円を増額補正しようとするもの)

●第140号 平成29年度西都市後期高齢者医療特別会計予算補正(第4号)について(職員給与の改定に伴い、総額17万6千円を増額補正しようとするもの)

●第141号 平成29年度西都市水道事業会計予算補正(第2号)について(職員給与の改定に伴い、総額64万4千円を増額補正しようとするもの)

その他

●第113号 専決処分の承認を求めることについて(衆議院の解散に伴う西都市一般会計予算補正)

●第114号 宮崎県自治会館管理組合の解散について(宮崎県自治会館管理組合を解散することに

ついて、関係団体と協議するため議会の議決を得ようとするもの)

●第128号 西都市文化ホール、西都市働く婦人の家及び西都市勤労青少年ホームの指定管理者の指定について(西都市文化ホール、西都市働く婦人の家及び西都市勤労青少年ホームの管理を一括して行わせるものを指定しようとするもの)

●第129号 宮崎県自治会館管理組合の解散に伴う財産の処分について(宮崎県自治会館管理組合が所有する財産を宮崎県市町村総合事務組合へ継承することについて、関係団体と協議するため議会の議決を得ようとするもの)

●第130号 宮崎県市町村総合事務組合への加入について(宮崎県自治会館の管理運営に関する事務の共同処理を行うこととなる宮崎県市町村総合事務組合に加入することについて、議会の議決を得ようとするもの)

議員提出議案

●第3号 「道路財法」における補助率等の嵩上げ措置の継続を求める意見書の提出について

〔「道路財特法」における補助率等の嵩上げ措置の継続を求める意見書を提出しようとするもの〕

議案等の審査

総務常任委員会

今期定例会において、総務常任委員会に付託されました議案5件について、その審査の経過と結果をご報告申し上げます。

まず、議案第115号 西都市印鑑登録及び証明に関する条例の一部改正についてであります。

本案は、コンビニエンスストア等における証明書等交付サービスの開始等に伴い、諸手続等について所要の整備を行おうとするものであります。

本案につきましては、種々質疑の後、別段異議なく、採決の結果、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第116号 西都市手数料条例の一部改正についてであります。

本案は、コンビニエンスストア等における証明書等交付サービスの開始に伴い、手数料について所要の整備を行おうとするものであります。

本案につきましては、種々質疑の後、別段異議なく、採決の結果、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第118号 平成29年度西都市一般会計予算補正（第7号）について本委員会に付託をされた部分についてであります。

第1表歳入につきましては主なもの、寄付金1億9992万円、市債2億4300万円を減額補正し、国庫支出金6922万7千円を増額補正しようとするものであります。

第1表歳出につきましては主なもの、総務費に子育て世帯住宅取

得等助成金2040万円の増額補正や、ふるさと振興基金積立金2億1201万円の減額補正などが計上されております。

本案につきましては、種々質疑の後、別段異議なく、採決の結果、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第129号 宮崎県自治会館管理組合の解散に伴う財産の処分についてであります。

本案は、宮崎県自治会館管理組合が解散することに伴い、同組合が所有する財産を宮崎県市町村総合事務組合へ継承することについて、関係団体と協議するため、議会の議決を得ようとするものであります。

本案につきましては、種々質疑の後、別段異議なく、採決の結果、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第130号 宮崎県市町村総合事務組合への加入につ

いてであります。

本案は、宮崎県自治会館管理組合が解散することに伴い、平成30年4月1日から宮崎県自治会館の管理運営に関する事務の共同処理を行うこととなる宮崎県市町村総合事務組合に加入することについて、議会の議決を得ようとするものであります。

本案につきましては、種々質疑の後、別段異議なく、採決の結果、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

文教厚生常任委員会

今期定例会において、文教厚生常任委員会に付託を受けました議案6件について、その審査の経過と結果をご報告申し上げます。

まず、議案第117号 西都市奨学資金貸付条例及び丸山国際交流資金貸付基金条例の一部改正についてであります。

本案は、奨学資金の返済期間の延長及び入学一時金の創設等に伴

い、所要の整備を行おうとするも
のです。

本案につきましては、種々質疑
の後、別段異議なく、採決の結
果、全会一致をもって原案のお
り可決すべきものと決しました。

次に、議案第118号 平成
29年度西都市一般会計予算補正
(第7号)について本委員会に付
託された部分についてでありま
す。

歳出につきましては、主なもので
は、民生費に介護給付・訓練等給
付など4833万7千円、私立保
育園や認定こども園、私立幼稚園
の運営費負担金など5399万5
千円の増額予算が計上されていま
す。また、衛生費に地方独立行政
法人西都児湯医療センター運営費
負担金として2126万1千円、
教育費に(仮称)都於郡城跡ガイ
ダンスセンター建設工事費として
2億2642万5千円の減額予算
が計上されています。

本案につきましては、ある委員
より、「第3表において『学校給

食調理業務委託費の債務負担行
為』の補正がされているので賛成
できない。これは前市政からの流
れによる提案ではあるが、学校給
食の調理業務委託を民間に委ねる
ことについては、当初から反対の
立場をとってきたこと、押川市長
には、これらの議案には、反対が
あったことを受け止めていただ
き、民間委託について再考を求め
ておきたい」との反対討論がなさ
れましたが採決の結果、多数をも
つて原案のとおり可決すべきもの
と決しました。

なお、審査の過程において、あ
る委員より、「(仮称)都於郡城
跡ガイダンスセンターについて
は、特別展示室の問題等があり、
建設事業費など2億6623万2
千円が減額補正されている。この
ことを踏まえ、特別展示室を設置
できないのであれば、人口減社会
を考慮し、最近整備した都於郡支
所の駐車場や近隣にある学習等供
用施設等を活用できるようなコン
パクトな総合庁舎の建設を検討す

るなど、いろいろな角度から考え
る必要があるのではないか。ま
た、前回のようなことを繰り返さ
ないためにも、長期的な維持管理
等も含め、時間をかけてしっかり
と教育委員会や庁議を重ね、再検
討していただきたい」また、ある
委員より、「(仮称)都於郡城跡
ガイダンスセンター建設計画につ
いては、早急に見直しを図り、一
日も早く再提案し、都於郡地域づ
くり協議会をはじめ、関係者に対
する説明責任を果たしていただき
たい。また、東米良地区住民の皆
さんに対して行なわれた『医療に
関するアンケート』の結果を生か
し、山間地域医療の推進と診療所
の経営改善に努めていただきました
い」との意見・要望がなされまし
た。

次に、議案第119号 平成
29年度西都市国民健康保険事業
特別会計予算補正(第3号)につ
いてであります。

本案は、基金積立金など、総額
447万円を増額補正しようとする

るものであります。

本案につきましては、種々質疑
の後、別段異議なく、採決の結
果、全会一致をもって原案のお
り可決すべきものと決しました。

次に、議案第124号 平成
29年度西都市介護保険事業特別
会計予算補正(第2号)について
であります。

本案は、介護保険システム改修
業務委託料など総務費を161万
円増額補正しようとするものであ
ります。

本案につきましては、種々質疑
の後、別段異議なく、採決の結
果、全会一致をもって原案のお
り可決すべきものと決しました。

次に、議案第125号 平成
29年度西都児湯障害認定審査会
特別会計予算補正(第2号)につ
いてであります。

本案は、障害認定審査会費を
11万1千円、増額補正しようとする
ものであります。

本案につきましては、種々質疑
の後、別段異議なく、採決の結

果、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第126号 平成29年度西都市後期高齢者医療特別会計予算補正（第3号）についてであります。

本案は、後期高齢者医療広域連合納付金など総額440万5千円を減額補正しようとするものであります。

本案につきましては、種々質疑の後、別段異議なく、採決の結果、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

産業建設常任委員会

今期定例会において、産業建設常任委員会に付託を受けました議案7件について、その審査の経過と結果をご報告申し上げます。

まず、議案第118号 平成29年度西都市一般会計予算補正（第7号）について、本委員会に付託された部分についてであります。

す。

歳出につきましては、主なものは、総務費のうち開発推進費に負担金補助及び交付金として、新規企業立地に伴う企業立地促進条例奨励金等交付金1516万円が計上されています。また、農林水産業費のうち地域農政対策費に新規就農者研修用トレーニングハウスの整備に係る経費への補助として新規就農者研修施設整備事業補助金1690万円が計上されています。

本案については、現地調査を行い、種々質疑の後、別段異議なく、採決の結果、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

なお、審査の過程において、ある委員より、「高塚山森林公園遊具撤去工事の予算が計上してあるが、高塚山森林公園は昭和52年から54年にかけて西都市高塚山生活環境保全林として約1億4100万円の事業費をかけて整備されている。高塚山森林公園内には

トイレや東屋などが設置されている約970㎡の民有地が含まれている。この民有地には年間5万1千円の借地料を支払っており、3年間の更新契約で平成32年3月

31日までの契約となっているので、その間に民有地借地契約の見直しを行い、必要性があれば市有地にトイレや東屋など各種施設の移転をしていただきたい。また、管理棟についてもしっかりとした環境整備をしていただきたい。関連

であるが、三納森林公園についても、現在の状況では公園利用者も公園として存続するのか、見直しを行うのか当局として検討していただきたい」との意見・要望がなされました。

次に、議案第120号 平成29年度西都市簡易水道事業特別会計予算補正（第1号）についてであります。
本案は、総務費から424万2千円を減額補正しようとするものであります。

本案については、種々質疑の後、別段異議なく、採決の結果、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第121号 平成29年度西都市下水道事業特別会計予算補正（第2号）についてであります。

本案は、土木費に583万7千円を増額補正しようとするものであります。

本案については、種々質疑の後、別段異議なく、採決の結果、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第122号 平成29年度西都市営住宅事業特別会計予算補正（第4号）についてであります。

本案は、住宅費から461万6千円を減額補正しようとするものであります。
本案については、種々質疑の後、別段異議なく、採決の結果、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第123号 平成29年度西都市農業集落排水事業特別会計予算補正（第2号）についてであります。

本案は、農業集落排水事業費に2万8千円を増額補正しようとするものであります。

本案については、種々質疑の後、別段異議なく、採決の結果、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第127号 平成29年度西都市水道事業会計予算補正（第1号）についてであります。

本案は、配水給水費など総額708万1千円を減額補正しようとするものであります。

本案については、種々質疑の後、別段異議なく、採決の結果、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第128号 西都市文化ホール、西都市働く婦人の家及び西都市勤労青少年ホームの指定管理者の指定についてであります。

す。

本案は、西都市文化ホール、西都市働く婦人の家及び西都市勤労青少年ホームの管理を一括して行わせるものを指定しようとするものであります。

本案については、種々質疑の後、別段異議なく、採決の結果、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

可決された 意見書

「道路財特法」における補助率等の嵩上げ措置の継続を求める意見書

（提出先）

衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・財務大臣・国土交通大臣・内閣官房長官・内閣府特命担当大臣（地方創生）

陳 審 査 結 果 情

動物の保護及び管理に関する法律の実行を求める要望

陳情者

緒方 博

審査結果

継続審査

「若い人も高齢者も安心できる年金制度」を国の責任で創設するための意見書採択要請

陳情者

全日本年金者組合

宮崎中央支部

執行委員長 伊地知 孝

審査結果

継続審査

◆編集後記◆

西都市市政60周年を迎える本年。人生の60年はまだまだ現役。論語為政篇の一つ「六十にして耳順（したが）ひ」とは「60歳では人の言うことを逆らわず素直に聞けるようになった」の意。

人の言葉は助言や諫言にせよ、なかなか素直に聞けず言葉を意味のままに理解するのは意外に難しいもの。孔子にして60歳になってようやくその境地に到達したと語っている。

現在は寿命も延び情報量も遙に多くなっている。耳順（じじゅん）の境地になれなくとも、そこを目指そうと努力することが大事なのでは。共に心掛けていきたい。

―議会報編集委員会―

委員長	黒木吉彦
副委員長	曾我部貴博
委員	恒吉政憲
委員	荒川昭英
委員	田川淑子
委員	荒川敏満
委員	中武邦美
委員	中野保夫
委員	狩野保夫